

校長つうしん No.23



2017.8.21

鈴木 恵一

風をうけて

夏休みも終わり、前期の後半戦が始まりました。前期の学習の締めくくりとして期末考査(8/21~25)があり、その後、9月に入ってから後期入学者選抜(一般・転・編入)のため何度かの家庭学習、そして就職試験があったり、学校祭(9/22~23)があったり……生徒も教職員もなかなかハードなスケジュールですね。こういう時こそ、体調管理と時間管理が重要です。栄養、睡眠、規則正しい生活をしっかりと！

全国大会を終えて

定通体育連盟全国大会卓球男・女(個人 & 団体)、バスケットボール女子、バレーボール男・女、陸上女子)と高文連(囲碁)全国大会が終了しました。選手の皆さん、お疲れ様でした！

勝っても負けても、すべてを「まなび」として吸収することが大切です。今回の経験をいろいろな機会に生かすために、新たな目標を設定し、地道に取り組んでください。

【上位入賞】 おめでとう！！

陸上 鎌田 莉衣奈 選手(2年次) **走り高跳び 優勝** **400m 決勝 6位入賞**

森 希望 選手(2年次) **砲丸投げ決勝 5位入賞**



第1回同窓会



8月20日(日)、市立札幌大通高等学校同窓会が設立され、総会並びに懇親会が開催されました。この日に向けて、1年がかりで準備が進められ、準備委員会の代表を務めていた成田優奈さん(第三代生徒会長)が同窓会会長として承認されました。

今回は、250 余名の卒業生、現職員・元職員に参加していただき、楽しいひとときを過ごすことができました。それぞれの思い出話に花を咲かせ、そして未来へ向けて希望を語る、そんな場となりました。私も多くの卒業生と話すことができましたが、在学中、大通高校が夢や希望を育む居場所であったように、卒業後も心の支えになっているという言葉がたくさん聞き、とても嬉しく思いました。在校生の皆さんも、そうした先輩達とつながりを持ちながら元気や勇気をもらい、そして後輩に「レ」していただくことを願っています。

私は役立つ存在なのか……？



◆自分や他者に対する評価

人間という生き物は、実に繊細な感情の動物です。

「他人の評価なんか気にしたくない」と思う一方で、「誰かに認めてほしい」と思うことがあります。「放っておいてくれ」と思う一方で、「自分の存在に気づいてほしい」と思うことがあります。気持ちに余裕がないと他者の存在を「面倒くさい」思い、気持ちに余裕があるときなら誰かに頼られると嬉しく感じます。

私たちは他者の評価によって自分の価値が決まると思いがちです。そして、どう評価されるかがとても気になります。でも、少しでも自分のことを冷静に見つめる努力をすれば、自分で自分を評価することも可能になります。すると、自分を大事にする心（自尊心）が生まれます。

人は、自分で自分のことを評価できないわけではなく、自分を正確に分析することに不安を感じたり自信が持てなかつたりするのです。自分と向き合うということは、ダメな自分とも向き合わなければなりません。ありのままの自分を認めるのは大変なこともかもしれません。そんな時、誰かの手助けがあれば変われることがあります。聞く耳を持てば変われることがあります。



◆小さな“役立ち”

誰かの言葉に勇気づけられたことはありませんか？それがあなたにとって価値あるメッセージ、意味あるメッセージだとしたら、とても大きな力になるはずですよ。「ありがとう」の言葉が心に響くことだってあります。誰かから感謝されたり、「がんばってるね！」と声をかけてもらうだけで、自分の存在価値

(意味)を自覚できるのです。「ああ、この人に喜んでもらえた。認めてもらえた」と。

「自分は誰かのために役に立っているのか？」と疑問に思うこともあるかもしれませんが、日常の小さなことのなかにたくさんの“役立ち”が隠されています。ちょっとしたお手伝いをするのもそうですし、ボランティアは正に社会貢献です。アルバイトだって、お客様のため、お店のため、ひいては経済社会のためになっています。それは、お金という形で返ってくることもあれば、励ましの言葉で返ってくることもあります。

そんな小さな積み重ねが、やがて大きな“役立ち”になっていくのです。そして、あなたには、価値あるメッセージの送り手にもなってほしいのです。誰かがやったこと、してくれたことに対し、「ありがとう」「がんばっているね」「助かりました」「うれしかったよ」ということで、その言葉を受け取った人は嬉しく感じ、時として勇気になるのです。仕事を通じて世のため人のために働いてお金を得ることも大切ですが、掛け値なしに汗水流して何かをすること、言葉や心を誰かに手向けることも尊いことです。日常の些細なことに目を向け、小さくてもいいから一歩ずつ着実にステップアップすることです。さあ、自分に何ができるか考えてみましょう。

